

## ミャンマー連邦共和国出張とカンボジア王国出張報告

国際戦略室 金子 由美

国連サミットでは、2016年から2030年の間に達成する17の目標、169のターゲット(SDGs)を採択しており、その中に「未処理汚水の半減」というターゲットが含まれています。そのターゲットをアジアの国々が達成するために、国土交通省と環境省は、2018年7月25日にアジアの国々や国際機関が参画する「アジア汚水管理パートナーシップ(AWaP:エイワップ)」を設立しました。AWaPには現在、日本、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、インドネシア、フィリピンの6か国が参加しています。その活動内容は、SDGs達成に貢献し、アジアにおける汚水管理の意識向上を図るために必要な整備規模・制度などを整理し、共通の課題解決に向けた連携プロジェクトを実施します。設立当初より、JSはサポート機関として活動してきました。今年度より、JSは国土交通省よりAWaP事務局業務を受託しています。

業務の一環として、2019年7月28日(日)～8月2日(金)の行程で、ミャンマー連邦共和国とカンボジア王国に出張に行ってきました。それぞれの国での打ち合わせ状況を本紙面にて報告致します。

## 1. ミャンマー連邦共和国

ミャンマー連邦共和国首都ネピドー市にて建設省(Ministry of Construction 略称:MOC)、ヤンゴン市開発委員会(Yangon City Development Committee 略称:YCDC)で打ち合わせをしてきました。

今回のMOCとの打合せでは、AWaP年次レポート様式についての意見交換や2019年8月8日開催の運営委員会の進め方について説明を行いました。さらに、MOCの職員の方が、『ニーズに応える新技術』の英語版を読んだと聞きました。WEB上で探して読んでくれたようです。

その後、YCDCとの打ち合わせでは、今後AWaP業務の中で浄化槽と下水道のパッケージ化の導入事前調査を予定していることを説明しました。導入事前調査のための情報提供をしたい、ヤンゴンで調査してほしいということでした。



写真1 MOCでの  
打ち合わせ状況



写真2 YCDCでの  
打ち合わせ後集合写真

## 2. カンボジア王国

カンボジア王国では、カンボジア政府が汚水管理の補強を望んでいるシハヌークビルの現地視察を行い。その後、プノンペン都にて、公共事業運輸省（Ministry of Public Works and Transport 略称：MPWT）、国土整備・都市化・建設省（Ministry of Land Management 略称：MOL）とそれぞれ打ち合わせを行いました。

公共事業運輸省には、7月より JS から小松が JICA 専門家として派遣されています。公共事業運輸省では、シハヌークビル現地視察報告を行いました。また、ミャンマー国建設省との打ち合わせと同様に AWaP 年次レポート様式の意見交換や運営委員会の進め方について説明を行いました。今後とも、小松 JICA 専門家をとおして、国土交通省や JS とやり取りをしていくことを確認しました。

国土整備・都市化・建設省では、シハヌークビルの現地視察報告を行いました。中心部については、ホテルが密集しており、浄化槽ではなくオフサイト処理が望ましいと報告しました。

シハヌークビル市内で今回、視察できなかった箇所またはカンボジア国内の他の都市で AWaP 業務にて浄化槽と下水道のパッケージ化の導入事前調査が行われる可能性があります。今後、導入事前調査の候補地について、情報収集をしていくことが必要です。

プノンペン都とシハヌークビルは車で 6 時間要しました！片道 250 km なので、時速 60 km で走行すれば 4 時間で着くはずなのですが、片側一車線なので、遅い車が走行していると渋滞が発生しました。シハヌークビルの中心部は舗装されていない道もあり、とても移動が大変でした。朝早くから夜遅くまで運転してくれた運転手さんにはとても感謝しています。



写真 3 シハヌークビル安定化池の放流水



写真 4 公共事業運輸省での打ち合わせ状況

以上